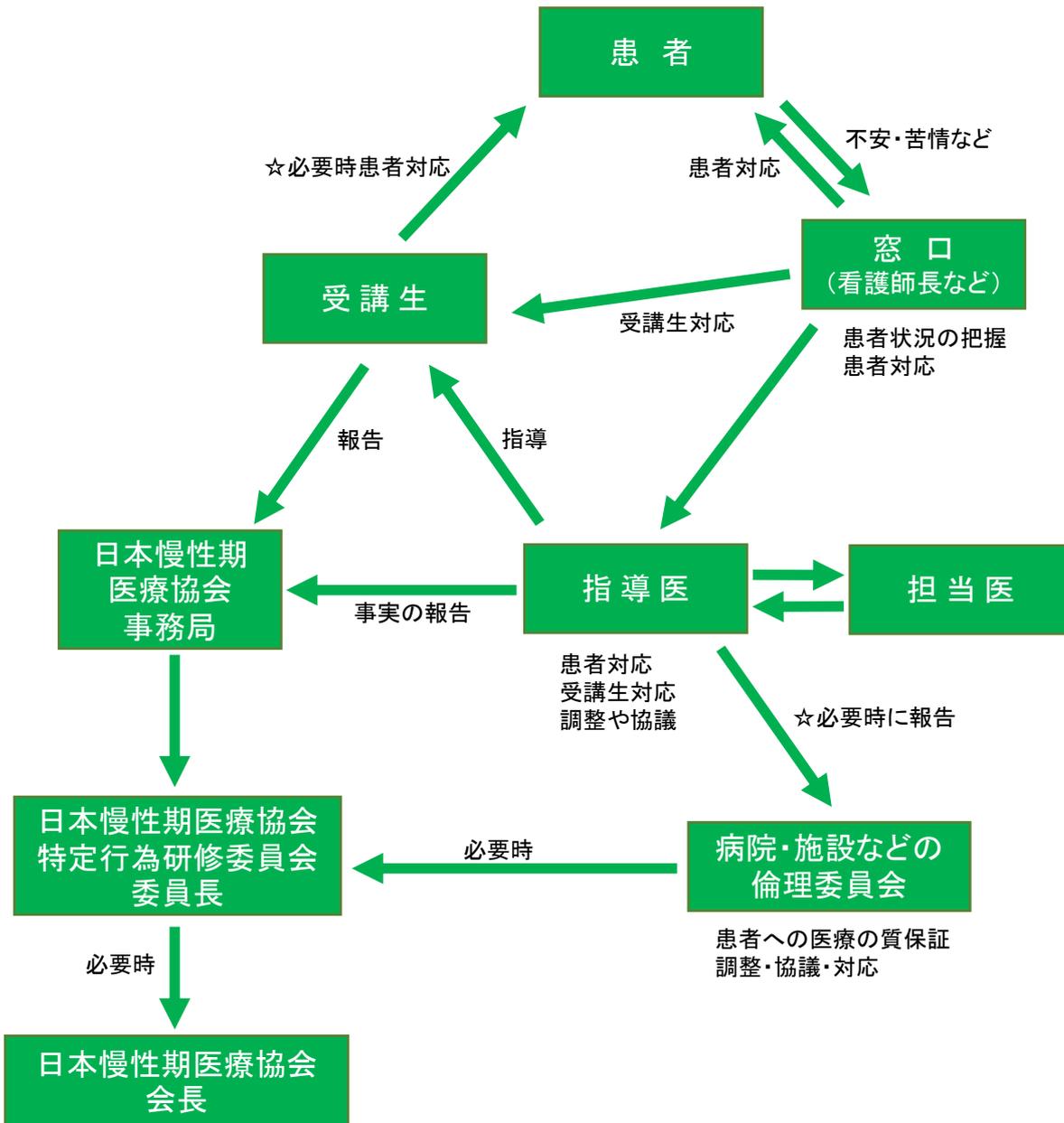


日本慢性期医療協会・看護師特定行為研修
 実習に係る患者からの相談に応じる体制(参考例)



<患者・家族の相談窓口>

実習による患者への影響を最小限にとどめるために、患者の不安・苦痛・苦情への対応を的確に行う。

1. 患者・家族の相談窓口は、誰かということを確認にする。
 - 1) 窓口になったもの（看護師長など）は、指導医や担当医に報告し、事実内容を確認し、指示を受ける。
 - 2) 患者には誠意をもって対応し、全力を尽くす。
2. ご家族への説明
 - 1) 実習内容及び病状について、内容に即した責任者が説明を行う。
 - 2) 患者や家族へ不安や苦痛等を与えた内容について、当該棟の看護師長と施設責任者などで患者及び家族へ謝罪を行う。
3. 内容に応じて、倫理委員会に報告し、再発防止や職員の教育を行う。
4. 必要に応じて受講生の謝罪の機会をもうける。